

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書36ページの上の問題を声に出して読みましょう。

(1) このペンキ4 dLで何 $m^2$ ぬれるかを図で考えました。□にあてはまる式や数をかきましょう。

(式)  =    $m^2$

(2) 次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

（ぬれる面積を求める式は、次のことばの式で表せます。）  
1 dLでぬれる面積 × ペンキの量 = ぬれる面積

2 教科書36ページの下の問題を声に出して読みましょう。

このペンキ4 dLで何 $m^2$ ぬれるかを、上のことばの式にあてはめて考えました。□にあてはまる式をかきましょう。

(式)

3 教科書37ページの□1の問題を声に出して読みましょう。

$\frac{3}{5} \times 4$ の計算のしかたを、教科書37ページのように、図を使って説明をします。( )や□にあてはまる数をかきましょう。

$\frac{3}{5} \times 4$ は、 $\frac{1}{5}$  (3×4) 個分だから、

$$\frac{3}{5} \times 4 = \frac{3 \times ( )}{5}$$

$$= \frac{( )}{5}$$

$m^2$

4 教科書37ページの□2の計算のように、とちゅうで約分することができることを確認しましょう。

5 まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

（分数に整数をかける計算は、分母はそのまま、分子にその整数をかけます。）

6 教科書37ページの△3の問題に取り組みましょう。

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書38ページの①を声に出して読みましょう。

(1) このペンキ1 dLで何 $m^2$ ぬれるかを、ことばの式で考えました。□にあてはまる式をかきましょう。

(式)

□

ことばの式

ぬれる面積 ÷ ペンキの量 = 1 dLでぬれる面積  
にあてはめてみましょう。

(2) さくらさんとかいとさんは、(1)の式の計算のしかたを考えました。

( ) や □ にあてはまる数や式をかきましょう。

さくらさん  
 $\frac{4}{5} \div 2$  は、 $\frac{1}{5}$  が ( ) 個分  
 だから、  
 $\frac{4}{5} \div 2 = \frac{( )}{5}$   
 = ( ) □  $m^2$

かいとさん  
 $\frac{4}{5} \div 2$  は、 $\frac{1}{( )}$  が 4 個分  
 だから、( )  
 $\frac{4}{5} \div 2 = \frac{4}{5 \times ( )}$   
 = ( ) □  $m^2$

2 教科書39ページの②を声に出して読みましょう。

さくらさんとかいとさんの説明を参考に、計算のしかたを □ の中にかきましょう。

□

3 まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

分数を整数でわる計算は、分子はそのまま、分母にその整数をかけます。

4 教科書 39 ページの③の問題に取り組みましょう。

「分数×分数」

月 日 ( ) 名前

1 教科書42ページの問題を声に出して読みましょう。

(1) ペンキの量が2 dLや3 dLのときに、式はどうなるのかを、教科書のような図で考えました。□にあてはまる式や数をかきましょう。

2 dLでは、 $\frac{4}{5} \times 2 =$ □	□ m <sup>2</sup>
3 dLでは、 $\frac{4}{5} \times 3 =$ □	□ m <sup>2</sup>

(2) 次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

ぬれる面積を求める式は、次のことばの式で表せます。  
 $\boxed{1 \text{ dLでぬれる面積}} \times \boxed{\text{ペンキの量}} = \boxed{\text{ぬれる面積}}$

2 教科書43ページの①を声に出して読みましょう。

(1) このペンキ $\frac{1}{3}$  dLでぬれる面積を求める式を、上のことばの式にあてはめて考えました。□の中にあてはまる式をかきましょう。

(式)

(2)  $\frac{4}{5} \times \frac{1}{3}$ の式になるわけを、教科書43ページの図を使って説明します。

□の中にあてはまる数や式をかきましょう。

ペンキの量が $\frac{1}{3}$ 倍になると、ぬれる面積も □ 倍になります。

$\frac{4}{5}$  m<sup>2</sup>の $\frac{1}{3}$ 倍になるから、式は □ になります。

3 まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。


ペンキの量が分数のときも、ぬれる面積を求める式は、整数のときと同じようかけ算の式で表せます。

「分数×分数」

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

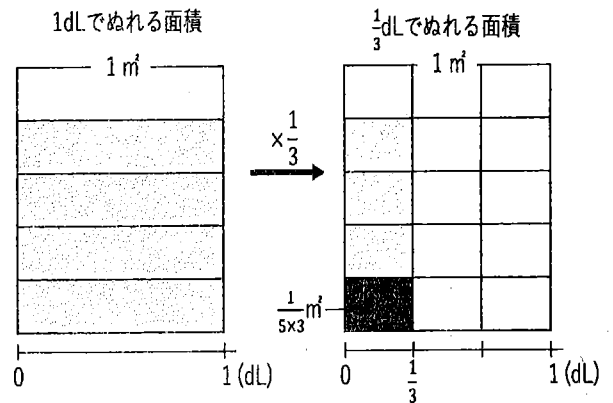
1 教科書44ページの2を声に出して読みましょう。

(1) だいちさん、ひなたさん、かいとさんが、 $\frac{4}{5} \times \frac{1}{3}$ の計算のしかたを説明しています。□にあてはまる式や数をかきましょう。

だいちさん「の何個分かを考えました。」

$\frac{4}{5} \times \frac{1}{3}$ は、 $\frac{1}{5 \times 3}$ が4個分だから、

$$\frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{\square}{\square} \times \frac{\square}{\square}$$

$$= \frac{\square}{\square} \text{ m}^2$$


ひなたさん「 $\frac{4}{5}$ の3等分とみて考えました。」

$\frac{4}{5} \times \frac{1}{3}$ は、 $\frac{4}{5}$ を3等分した1個分だから、

$$\frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{5} \div 3$$

$$= \frac{\square}{\square} \times \frac{\square}{\square}$$

$$= \frac{\square}{\square} \text{ m}^2$$

かいとさん「 $\frac{1}{3}$ を整数になおして計算しました。」

$$\frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{5} \times \left(\frac{1}{3} \times 3\right) \div 3$$

$$= \frac{4}{5} \div 3$$

$$= \frac{\square}{\square} \times \frac{\square}{\square}$$

$$= \frac{\square}{\square} \text{ m}^2$$

(2) 上の説明のどれかを使って $\frac{4}{5} \times \frac{1}{5}$ の計算のしかたを説明しましょう。

「分数×分数」

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書45ページの4を声に出して読みましょう。

(1) 280ページの算数資料集を読みましょう。また、この問題の式を  の中にかきましょう。

(式)

(2) 上のような分数をかける計算のしかたを教科書45ページの図や式を使って考えます。 にあてはまる数をかきましょう。

ひなたさん

$\frac{4}{5} \times \frac{2}{3}$  は、 $\frac{4}{5}$  を3等分した2個分だから

$$\frac{4}{5} \times \frac{2}{3} = \frac{4}{5} \div 3 \times 2$$

$$= \frac{\boxed{\phantom{000}}}{\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}}} \times 2$$

$$= \frac{\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}}}{\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}}}$$

$$= \boxed{\phantom{000}} \boxed{\phantom{000}} \text{ m}^2$$

かいとさん

$$\frac{4}{5} \times \frac{2}{3} = \frac{4}{5} \times \left( \frac{2}{3} \times 3 \right) \div 3$$

$$= \frac{4}{5} \times 2 \div 3$$

$$= \frac{\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}}}{\boxed{\phantom{000}}} \div 3$$

$$= \frac{\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}}}{\boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\phantom{000}}}$$

$$= \boxed{\phantom{000}} \boxed{\phantom{000}} \text{ m}^2$$

(3) まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

〔分数のかけ算では、分母どうし、分子どうしをそれぞれかけます。〕

2 教科書45ページの5の問題に取り組みましょう。

①

②

③

④

「分数×分数」

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

- 1  $3 \times \frac{2}{5}$ 、 $6 \times \frac{3}{4}$ を計算します。□にあてはまる言葉や数をかきましょう。  
 (整数を □ になおして計算します。)

$$3 \times \frac{2}{5} = \frac{3}{1} \times \frac{2}{5}$$

$$= \frac{\square}{\square} \times \frac{\square}{\square}$$

$$= \frac{\square}{\square}$$

$$6 \times \frac{3}{4} = \frac{6}{1} \times \frac{3}{4}$$

$$= \frac{\cancel{6} \times 3}{1 \times \cancel{4}}$$

$$= \frac{\square}{\square}$$

- 2 教科書46ページの△7の問題に取り組みましょう。

①	②	③	④
---	---	---	---

- 3  $1\frac{2}{3} \times 2\frac{1}{2}$ 、 $\frac{5}{6} \times 2\frac{1}{4}$ を計算します。□にあてはまる数をかきましょう。

$$1\frac{2}{3} \times 2\frac{1}{2} = \frac{5}{3} \times \frac{5}{2}$$

$$= \frac{\square}{\square} \times \frac{\square}{\square}$$

$$= \frac{\square}{\square}$$

$$\frac{5}{6} \times 2\frac{1}{4} = \frac{5}{6} \times \frac{9}{4}$$

$$= \frac{\cancel{6} \times 9}{\square \times 4}$$

$$= \frac{\square}{\square}$$

- 4 教科書46ページの△9の問題に取り組みましょう。

①	②	③	④
---	---	---	---

「分数×分数」

月 日 ( ) 名前

- 1  $0.7 \times \frac{1}{3}$ 、 $\frac{5}{6} \times 1.4$ を計算します。□にあてはまる数をかきましょう。

$0.7 = \frac{\square}{\square}$ だから、  
 $0.7 \times \frac{1}{3} = \frac{\square}{\square} \times \frac{1}{3}$   
 $= \frac{\square}{\square} \times \frac{\square}{\square}$   
 $= \square$

$1.4 = \frac{\square}{\square}$ だから、  
 $\frac{5}{6} \times 1.4 = \frac{5}{6} \times \frac{7}{5}$   
 $= \frac{\cancel{5} \times 7}{6 \times \cancel{5}}$   
 $= \square$

- 2 教科書47ページの△2の問題に取り組みましょう。

①	②	③
---	---	---

- 3  $1.3 \times \frac{4}{9} \times 3$ の計算をしましょう。

- 4 教科書47ページの△4の問題に取り組みましょう。

「分数×分数」

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書48ページの1を声に出して読みましょう。

(1) 次の計算をしましょう。

<p>㉑ <math>80 \times \frac{1}{4}</math></p>	<p>㉒ <math>80 \times 1</math></p>	<p>㉓ <math>80 \times \frac{6}{5}</math></p>
<p>㉔ <math>80 \times 1\frac{1}{2}</math></p>	<p>㉕ <math>80 \times \frac{3}{8}</math></p>	

(2) 上の㉑～㉕の中で、積がかけられる数より大きくなる時、等しくなる時、小さくなる時は、それぞれかける数がどんなときですか。

積がかけられる数より大きくなる時は、かける数が1より  とき

積がかけられる数と等しくなる時は、かける数が  のとき

積がかけられる数より小さくなる時は、かける数が1より  とき

2 教科書48ページの2を声に出して読みましょう。

㉑～㉔を積の大きい順に並べましょう。

